

平成29年度予算要求方針と要求のポイント

※予算については3月市議会の審議により決定します。

清里区総合事務所長

○予算要求の考え方

第6次総合計画で位置付ける政策・施策、「暮らし」「産業」「交流」の3つの重点戦略及び地方創生の取組を着実に推進し「すこやかなまち ～人と地域が輝く上越」の実現に向けた予算を要求する。また、事務事業の総点検結果に基づく予算要求とする。

【区の取組】

3つの【重点戦略】

1 暮らし
暮らしの安心感を高める
“つながり”の構築

2 産業
地域の元気と働きがいを生む産業の創出

3 交流
交流圏の拡大をいかした豊かさの向上

・高齢者の生活支援と居場所づくり
高齢者が孤独にならないための居場所づくりを推進

・災害対応力の推進
交通安全の推進並びに消防・防災力の強化

・中山間地域対策の推進
地域内外の支え合いにより地域の暮らしを守る取り組みの継続

・市民主体のまちづくりの推進
地域活動支援事業、地域振興事業による市民活動への支援
市民活動の拠点であるコミュニティプラザの適正管理と利活用の促進

・生涯学習・青少年教育の充実
生涯学習・スポーツ振興の推進と星のふるさと館の活性化

区取組みの主な事業内容

◆ 清里生活支援ハウスの管理運営	9,622千円
◆ 敬老会の実施委託、老人クラブへの助成	1,980千円
◆ 地域支え合い事業の実施、出前サロンの拡充	3,464千円
◆ 交通安全の推進、防犯灯等の適正管理	
◆ 防災資機材を活用した防災訓練の実施	
◆ 安全で安心な道路管理業務 (計画的施設管理委託、市内一円道路修繕工事等)	29,710千円
◆ 除雪体制の整備、消融雪施設の修繕、管理	113,675千円
◆ 中山間地域農業の振興（中山間地域等直接支払交付金）	47,644千円
◆ 櫛池農業振興会の活動支援	
◆ 地域活動支援事業	5,300千円
◆ 清里区地域振興事業 (サマーカーニバルきよさと坊太郎祭り、東京清里会、 荒牧城址狼煙上げの事業を支援)	1,122千円
◆ 清里コミュニティプラザの管理運営、整備事業	26,859千円
◆ スクールバスの運行	6,263千円
◆ 上越清里星のふるさと館の利用促進と管理運営 (上越科学館との連携強化による利用促進と施設の活性化)	17,332千円
◆ 体育施設の管理運営並びに各種スポーツ大会、 スポーツの振興の推進	14,445千円

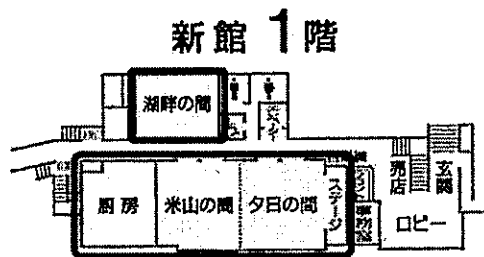
平成 29 年 3 月 16 日

平成 29 年度の坊ヶ池周辺施設について

1 京ヶ岳

(1) 概要

- ・公の施設再配置計画に基づき、平成 29 年 4 月から、宿泊・温浴機能及び食堂は休止。
- ・地元で施設の活用要望があることから、4 月以降、NPO 法人 清里まちづくり振興会が主体となって、イベントや地域の交流などを行う。
- ・施設のうち、新館 1 階の大広間（米山の間・夕日の間・湖畔の間）及び厨房を占有することについて、許可する予定（100%減免による行政財産使用許可）。
上記以外の玄関・トイレなどは共有スペースとして使用。



(2) 清里まちづくり振興会による活用計画（利用期間 4 月～12 月）

① イベント（約 1,800 人）

- ・まちづくり振興会
郷土料理講習会、夏休み子どもデイキャンプなど
- ・櫛池農業振興会
清里そばまつり、そば道場など
- ・観光交流協会
山菜採り・バイキング、きのこ採り・バイキング、山城・棚田散策
歴史探訪などのハイキング、ブナの森トレッキングなど
- ・天文同好会
スターフェスティバル

② 研修・会合（約 2,700 人）

清里区内の各種団体

(3) 施設維持管理

- ・消防設備点検・除雪費など、施設の維持管理費用は、市が負担。
- ・人件費・マイクロバスリースなど、活動に伴う費用は、まちづくり振興会が負担。
- ・電気・ガス・水道等は、基本料金は市が負担。活動に伴う従量使用料分は、まちづくり振興会が負担。

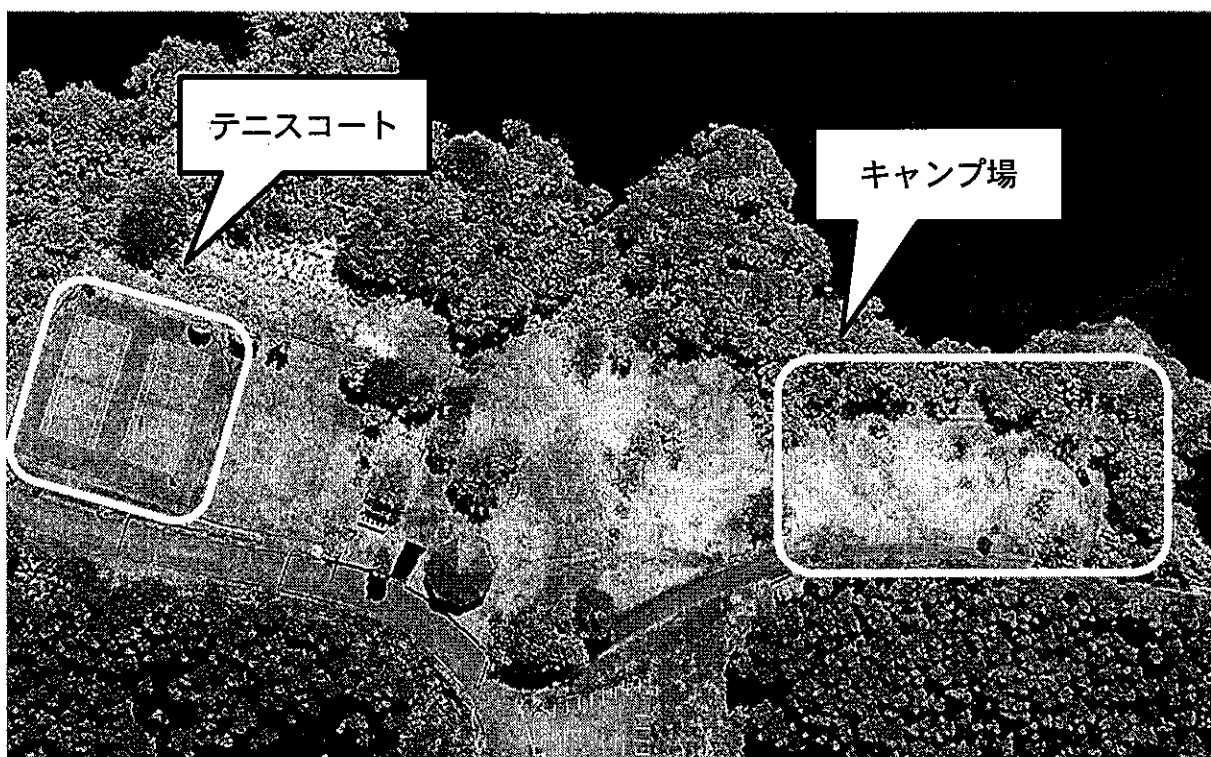
2 坊ヶ池湖畔公園

(1) 概要

- ・公の施設再配置計画に基づき、平成 29 年 4 月からキャンプ場及びテニスコートを廃止。
- ・キャンプ場・テニスコート以外の施設は、公園施設として継続。

(2) 施設維持管理

- ・キャンプ場は、草刈りなどの維持管理を行う。
- ・テニスコートは、現況（コート舗装）のままとし、公園の一部として利用。
- ・トイレ、東屋、水飲み場等の既存施設は、引き続き維持管理を行う。
- ・平成 29 年度以降、キャンプ場の使用料は発生しない。



(3) 今後のスケジュール

平成 29 年 4 月：キャンプ場及びテニスコートを廃止。

※廃止に伴う坊ヶ池湖畔公園条例の一部改正及び地域協議会への諮問は、平成 29 年度に行う。

(通称) ビュー京ヶ岳施設運営計画

坊ヶ池湖畔の山荘京ヶ岳は星のふるさと館や湖畔公園と一体となった自然環境を持つ交流・観光を担う地域振興の拠点施設であり、施設機能、設置目的から自然景観を生かした市民交流・研修・イベント等に広く活用し、地域活性化を図る。

1. 活用方針

宿泊・温浴を休止した交流・会合・イベント等の日帰り施設として利用

- ① 自然景観・農山村体験を活用したグリーンツーリズム活動の拠点施設
- ② 市民交流や各種研修・会合と高齢者福祉を担う交流・憩いの施設
- ③ 星のふるさと館、湖畔公園と連携した市民の自然・環境に親しむ施設

2. 管理運営体制

区内の公共施設管理運営実績ある「NPO 法人清里まちづくり振興会」が管理運営主体となり、清里区内外の各種団体、農業関係法人・民間企業等による支援組織「ビュー京ヶ岳運営協議会」を設立し施設利用促進を図る。

3. 施設活用計画

- (ア) 地域振興を図る観光イベント事業
- (イ) 各種団体会合、市民交流・研修事業
- (ウ) 農産物・特産品販売促進、都市農村交流事業

4. 施設運営方針、経費

市の方針

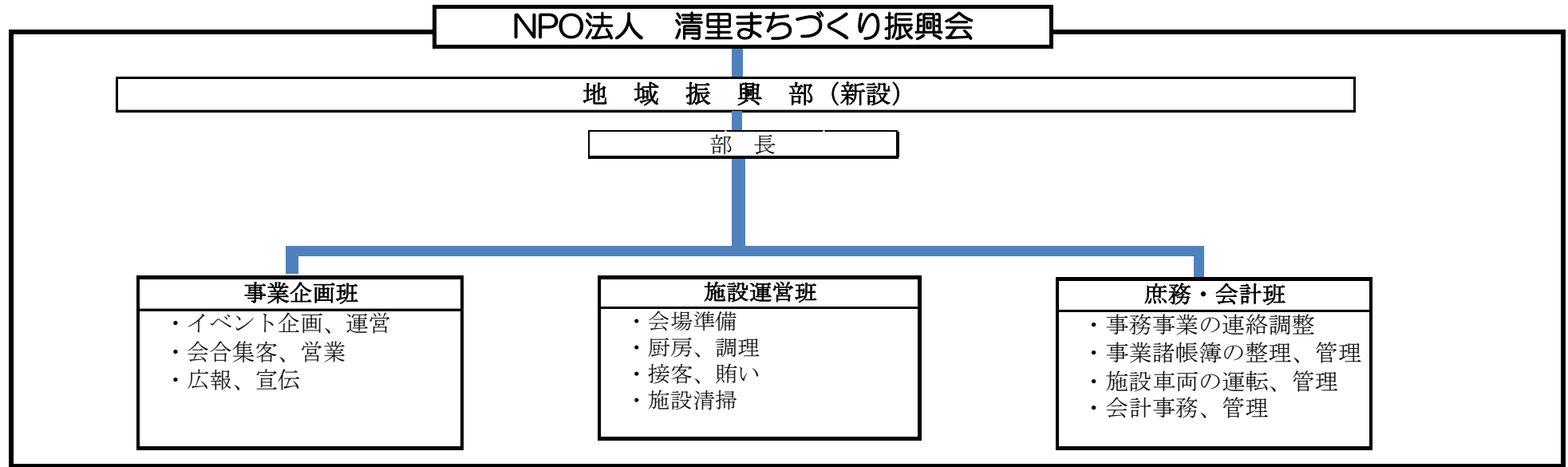
- ・ 地域振興を図る目的から施設利用料を 100%減免によって貸借する。
- ・ 市としては、事業運営に一切かかわらず、地域の主体的な運営とする。
- ・ 施設の維持管理に関する基本部分の費用は予算化する。
(電気、水道、ガス使用量の基本料金は市が支出する。そのほか、施設管理委託経費施設修繕費も全て市で対応する。)

NPO 法人運営方針

- ・ NPO 法人清里まちづくり振興会に施設運営部門を設置し管理運営する。
- ・ 各種会合、イベント経費(飲食、送迎等)は利用主催者と参加者の負担で収支を賄う。
- ・ 厳しい施設運営となるので、各種補助事業の活用と地域市民、団体・企業等の運営協力、資金支援により収支の改善を図る。

5. 施設名称・利用期間 (通称) ビュー京ヶ岳、毎年 4 月～12 月末、休館日原則なし

管理運営体制 組織図



2

